

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

令和7年度 第2号

<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/support.html>

当校 HP に
も掲載中!

新潟県立長岡聾学校通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町 2-1-13

TEL 0258-38-0210 (通級指導教室)

*18:00 までにお願ひします。メールもご活用ください。

FAX 0258-39-5665

e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp

発行: 令和7年5月

体育館、グラウンドなどでのきこえについて

新しい学校、新しい学年でドキドキした4月が終わりました。児童生徒の皆さんは、新しい環境に慣れたでしょうか。連休で、ゆっくり休んだりエネルギーを補ったりすることができたでしょうか。

5月になりました。小学校では5月から6月に運動会を行う学校が多いと思います。また中学校や高校では、大会などに向けて部活の練習が本格化する時期です。難聴のある児童生徒は、補聴器や人工内耳を装用しても、体育館やグラウンドで指示やスタートなどの合図がきこえにくいことがあります。

きこえにくい例

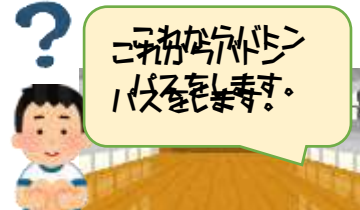
話す人と自分の距離が遠い



周囲の騒音がある



音が響く



↓ 上記への支援例です。他の児童生徒にとってもわかりやすい支援もあります。

グラウンドや体育館で行う内容を教室で事前に確認する。ホワイトボード等を持参し、活用する。

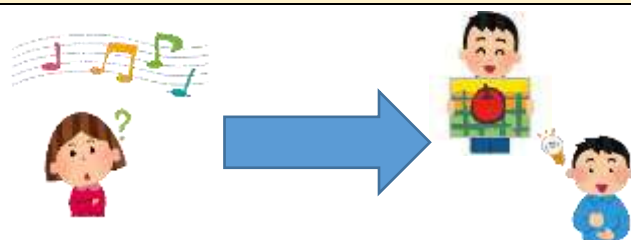


スタートなどの合図は、音だけでなく視覚的にわかる旗などを用いる。



屋外で急な降雨の場合は補聴器を外し、ケース等に入れてぬれないように! 湿気厳禁!!

難聴の児童生徒が不利にならないような、ルールや視覚情報を工夫する。



補聴援助システム(ロジャー等)が必要な場合は使用する。*該当する児童生徒。屋外は話す人の近くだと効果がある。

ロジャー使用の有無に関わらず、話す人の近くに並ぶことも大切です。



全てこれと同じにする必要はありませんが、練習の様子や本人の希望などから、各学校の実情に合わせて支援をお願いいたします。「きこえにくいのでこうしてほしい」と自分から伝える力を育てることも大切です。

きこえの教室や難聴通級指導教室について

きこえにくさのある小中学生が、放課後などに通ってきこえについて学ぶところを「きこえの教室」、「難聴通級指導教室」と呼んでいます。どんなことをしているのか、当校の例でお伝えします。

● 長岡聾学校通級指導教室の経営方針

1. 中学校へ通う難聴のある生徒に対し、在籍校での適応を支援する。
2. 生徒及び保護者等のニーズや実態の把握に努め、個別指導を計画的に実施していく。
3. 保護者等及び在籍学級の担任との連携を大切に、必要な情報交換・情報提供に努める。

● 主な指導内容

- ・ 難聴や補聴機器に関する指導
- ・ 聴能・発音・コミュニケーションに関する指導
- ・ 聴覚管理に関する指導（補聴機器のメンテナンス、聴力測定）
- ・ 進路に関わる情報提供（面接、リスニングなどの対策、関係機関との連携）
- ・ 各教科学習に関する相談



1 年間のおよその予定

学期	前期				夏休み	前期	後期					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
通級の予定	通級開始 聴力測定	聴力測定	在籍校訪問				在籍校訪問		聴力測定	聴力測定		者） 終了式（全員対象、希望
			高校入試にかかわって、中3生徒は必要に応じて申請書の提出と補聴システム(ロジャー等)使用についての相談。									

☆毎回生徒の実態に合わせた、個別の学習を行っています。

☆この他に、合同通級や先輩の話を聞く会、保護者会を行っています。それぞれ「きこえについて、同じ人と初めて会って良かった」（難聴のある人は少ないため、同じ学校にほとんど在籍していないことが多いです）、「同じような保護者の方と初めて会い、話しをすることができて良かった」、「きこえにくさのある先輩の話を聞いたことで、自分の目標が具体的にになった。進路決定に自信がもてた」などの感想を聞いています。

難聴理解のための研修を行いました。

毎年当校へ何校かご依頼をいただいています。その中でイヤーマフを用いた「難聴体験」を実施しています。目を閉じると見えなくなりますが、耳を塞いでも多少は聞こえるため「きこえにくさ」を実感する経験が、普段はあまりありません。その中でいくつかの参考になる感想をいただきました。「最初の言葉を聞き逃すと何の話かわかりにくい」、「こんなに聞こえにくいと思わなかった」、「周囲が静かな方が聞き取りやすい」、「聞いたことのない言葉は分かりにくい」、「何の話かわかりにくく孤独を感じた」学習指導や環境調整、心情理解などに役立つお話を多数いただきました。難聴のある児童生徒の理解や支援のヒントとなりそうです。